

第 127 回日本森林学会大会のお知らせ（第 2 回）

一般社団法人 日本森林学会会長
第 127 回日本森林学会大会運営委員長

第 127 回大会を神奈川県藤沢市の日本大学生物資源科学部で開催します。交通機関などの詳細は日本森林学会誌 97 巻 5 号（2015 年 10 月初旬発行予定）と学会ウェブサイト（<http://www.forestry.jp/>）に掲載します。

1. 日 程

	午 前	午 後
2016 年 3 月 27 日（日）	市民公開シンポジウム	日本森林学会各賞授賞式・受賞者講演
3 月 28 日（月）	研究発表	研究発表・懇親会
3 月 29 日（火）	研究発表	研究発表
3 月 30 日（水）	関連研究集会	関連研究集会

2. 参加・発表資格

会員 ・大会参加の事前申込みをおこなうことができます。
・研究発表をおこなうことができます。

非会員 ・当日の受付により参加することができます。

・研究発表をおこなうことはできません。ただし企画シンポジウムでは、プログラム編成委員会で認められた場合に限り研究発表をおこなうことができます（末尾「公募セッション・企画シンポジウムの募集」をご参照ください）。

※入会予定の方が研究発表をおこなう場合や、参加の事前申込みを希望される場合は、オンライン登録の前に入会手続きをお済ませください。入会手続きが未了の時点でも仮の会員番号を用いて参加および発表の仮登録はできますが、11 月 19 日までに入会手続きを済ませていただき、参加および発表の本登録をしてください。

※「研究発表を行わない学部生（大会参加登録開始の時点で学部所属している学生）」の方は、会員・非会員ともに大会参加費が無料となります（大会当日の受け付けになります。事前のオンライン登録はできません）。なお、「発表をおこなう学部生の学生会員」および「学部生以外の学生会員（例えば大学院生）」は通常の大会参加費をお支払下さい。

3. 大会参加の申込み

研究発表をする場合は、大会参加の申込みと 4. の研究発表の申込みの両方を行ってください。

大会参加ならびに懇親会の参加申込みは、すべてインターネットからオンライン登録で行います。登録の際、会員番号の入力が必要です。Fax、E-mail による大会参加の受付は行いません。

参加費の払込みは基本的にウェブサイトからカード決済で、下記期日までにお願いします。郵便振込みをご利用の方はウェブサイトで郵便振込み選択ボタンをチェックの上、下記期日までに振込みを行ってください。

(1) 研究発表する場合の大会参加申込み及び前納の締切は 2015 年 11 月 19 日（木）

事務局で払込みが確認され次第、学術講演集の原稿のオンライン登録もできるようになります。参加費の払込み手続きが行われない場合には、研究発表をキャンセルしたものとして処理いたしますのでご注意ください。

(2) 大会参加のみの場合の前納の締切は 2016 年 1 月 14 日（木）

大会当日の参加申込みは可能ですが、受付が混雑して手続きに時間がかかることが予想されます。また、予想を上回る当日参加者があった場合、プログラム及び大会学術講演集の配布ができない可能性がありますので、上記締切までにお申込みいただくようお願いします。

4. 研究発表の申込み

研究発表の申込みは、インターネットからオンライン登録で行います。2015年10月27日(火) 14:00 から 2015年11月19日(木) 17:00 までの期間中に、日本森林学会ウェブサイト (<http://www.forestry.jp/>) にアクセスし、発表の申込みを行ってください。詳しい入力方法については、ウェブサイトに案内を掲載します(10月上旬を予定しています)。インターネットからの登録以外は受け付けませんのでご注意ください。

研究発表申込みの受理には、上記締切までの参加費の払込みが必要です。
なお、次の点にご留意下さい。

- (1) 研究発表は、部門別口頭発表、部門別ポスター発表、公募セッション、企画シンポジウムに分けて行います。
- (2) 公募セッションは、既存の部門ではカバーできない部門横断的なテーマについて会員の研究交流を継続的に進めることを目的としたセッションです。ポスター発表が併設される公募セッションもあります。発表者は公募のみで、部門別発表と同様の発表形式です。127回大会で設置される公募セッションは、日本森林学会ウェブサイトに掲載します(9月下旬を予定しています)。
- (3) 企画シンポジウムは、森林学に関する明瞭で簡潔にまとめたテーマをもったシンポジウムです。発表者は公募せずコーディネータが決定します。企画シンポジウムの講演者も研究発表の申込みを行ってください。127回大会で開催される企画シンポジウムは、日本森林学会ウェブサイトに掲載します(9月下旬を予定しています)。
- (4) 発表者は筆頭者に限ります。また筆頭者としての発表は、すべての発表形式を通じて1人1件に限ります(ただし学会賞を受賞された方の受賞講演は除きます)。
- (5) 部門別口頭発表と部門別ポスター発表、公募セッションの発表者は本学会会員(平成28年度分)に限ります。会員でない方は、日本森林学会ウェブサイト (<http://www.forestry.jp/>) から入会の手続きを行ってください。
- (6) 部門別口頭発表、部門別ポスター発表、公募セッションのいずれで発表するかは、原則として発表者の希望によりますが、プログラム編成委員会で調整を行う場合もありますので、ご了承ください。
- (7) 研究発表は、森林学に関する研究成果で、学術講演集の原稿の締切(2016年1月14日(木))までに結果と結論の得られるものとします。
- (8) 研究発表申込みの際に登録した著者名・所属、題名は、要旨の入力時でも修正ができません。申込みの際には共著者(特に学生の方は指導教員の先生等)とよく相談した上でお申込みください。
- (9) 口頭発表の器材は液晶プロジェクターとします。OHPは使用できません。
- (10) 第127回大会では、林政、風致、経営、造林、遺伝・育種、生理、生態、立地、防災、利用、動物、樹病、特用林産の13の部門が設置されます。部門の選択の際には、下記の部門キーワードを参考にしてください。

[部門キーワード]

林政部門

経済学・社会的アプローチ、森林・林業政策、林業経済、木材産業・流通、山村社会・経済、環境・資源ガバナンス、自然資源管理政策、森林環境教育、伝統文化、市民参加・住民参加
Forest Policy

economic and sociological approaches, forest and forestry policy, forest economy, forest products industry and market, mountain village society and economy, governance on the environment and resources, natural resource management policy, forest environmental education, traditional culture, public participation

風致部門

空間・計画論的アプローチ、景観、公園緑地、世界遺産、森林療養、観光、レクリエーション、保護地域管理、伝統文化
Landscape Management

spatial and planning approaches, landscape, parks and open spaces, world heritage, forest therapy, tourism, recreation, protected area management, traditional culture

経営部門

森林計画, 経営評価, 機能評価, 森林作業法, 森林調査法, 成長モデル, モニタリング, リモートセンシング, 森林GIS, 景観管理, 環境教育, LiDAR, 航空レーザ測量, 地上レーザ測量

Forest Management

forest planning, management assessment, function assessment, forest working system, forest inventory, growth model, monitoring, remote sensing, forest GIS, landscape management, environmental education, LiDAR, airborne laser scanning, terrestrial laser scanning

造林部門

成長, バイオマス, 林分構造, 無性繁殖, 種子生産, 種子散布, 埋土種子, 育苗, 植栽, 天然下種更新, 萌芽更新, 下刈り, 光環境, 間伐, 長伐期施業, 複層林施業, 混交林施業, 広葉樹林化, 里山管理

Silviculture

growth, biomass, stand structure, vegetative reproduction, seed production, seed dispersal, seed bank, nursery, planting, natural regeneration, coppice, weeding, light environment, thinning, long-rotation forestry, uneven-aged forestry, mixed forest management, restoration of natural forest, satoyama

遺伝・育種部門

遺伝子資源保全, 林木育種, 育種計画, 材質育種, 抵抗性育種, 花粉症対策, 特性評価, 種苗増殖, 育苗技術, 採種園, 組織培養, 分子育種, 遺伝子工学, ゲノム解析, 連鎖解析, 発現解析, 遺伝子流動, 遺伝構造, 遺伝的多様性, 系統地理

Forest Genetics and Tree Breeding

genetic conservation, tree breeding or forest tree improvement, breeding strategy, improvement of wood property, breeding for resistance, countermeasure for pollinosis, test of specific character, propagation of nursery stocks, nursing technology, seed orchard, tissue culture, molecular breeding, genetic engineering, genome analysis, linkage analysis, analysis of gene expression, gene flow, genetic structure, genetic diversity, phylogeography

生理部門

樹木生理, 個体生理, 生態生理, 水分生理, 光合成, 呼吸, 栄養成長, 生殖成長, 環境応答, ストレス応答, 代謝, 栄養, 物質輸送, 植物ホルモン, 細胞内小器官, 細胞壁, 組織培養, 形質転換, 遺伝子発現, ゲノム科学, オミクス解析

Tree Physiology

tree physiology, whole plant physiology, ecophysiology, water relation, photosynthesis, respiration, vegetative growth, reproductive growth, environmental response, stress response, metabolism, nutrition, transport, plant hormones, organelle, cell wall, tissue culture, genetic transformation, gene expression, genomics, omics

生態部門

生物多様性, 生態系サービス, 生態系機能, 生態系管理, ゾーニング, 森林景観, 順応的管理, 生物群集, 生物間相互作用, 攪乱, 植生遷移, 物質循環, 森林動態, 植物遺体, 樹形, 生活史戦略, 気候変動, 地理分布

Forest Ecology

biological diversity, ecosystem service, ecosystem function, ecosystem management, zoning, forested landscape, adaptive management, plant community, biological interaction, disturbance, plant succession, material cycle, forest dynamics, litter and woody debris, tree architecture, life-history strategy, climate change, geographical distribution

立地部門

土壤生成, 土壤分類, 土壤理化学性, 炭素動態, 窒素動態, 物質循環, 気象害, 水循環, 土壤生物, 花粉分析, 地位, 植物生態, 森林衰退, 大気降水, 地球温暖化, 細根動態, 放射性物質, 生物地球化学, 土壤呼吸, 温室効果ガス

Forest Environment

pedogenesis, soil classification, soil physical and chemical properties, carbon dynamics, nitrogen dynamics, nutrient cycling, meteorological damage, hydrological cycle, soil organisms, pollen analysis, site quality, plant ecology, forest decline, atmospheric deposition, global warming, fine root dynamics, radioactive substance, biogeochemistry, soil respiration, greenhouse gas

防災部門

森林防災, 土砂災害, 斜面安定, 表面浸食, 水文, 水循環, 流域, 集水域, 降雨流出過程, 蒸発散, 樹木の水分生理, 土壤水分, 森林気象, 緑化, 水質, 物質循環, 同位体, トレーサー, 大気降水, 地下水, 温室効果ガス, 気候変動

Forest Disaster Prevention and Hydrology

forest disaster prevention, sediment-related disaster, slope stability, surface erosion, hydrology, water cycle, catchment, watershed, rainfall-runoff process, evapotranspiration, water-related plant physiology, soil moisture, forest meteorology, revegetation, water quality, biogeochemical cycle, isotope, tracer, atmospheric deposition, groundwater, greenhouse gases, climate change

利用部門

森林路網, 林業土木, 木材生産, 林業機械, 作業システム, 労働科学, 安全管理, バイオマス, 森林情報, ロジスティクス, 環境へのインパクト, ICT, 再造林技術

Forest Engineering

forest road network, forest civil engineering, timber production, forest machinery, working system, ergonomics, safety management, biomass, forest information, logistics, environmental impact, information and communication technology, reforestation technology

動物部門

森林昆虫, 森林病虫害, マツ枯れ(マツ材線虫病), ナラ枯れ(ブナ科樹木萎凋病), キクイムシ, 共生微生物, 森林動物, 野生動物管理, ニホンジカ, ツキノワグマ, 森林性鳥類, 生物間相互作用, 生物群集, 食物網, 生物多様性, 個体群動態, 密度調節, 大発生, 種子散布, 土壤動物, 外来生物

Forest Insects and Animals

forest insects, forest pest, pine wilt disease, oak wilt, scolytid and platypodid beetles, symbiotic microbes, vertebrates in forests, wildlife management, sika deer, Asian black bear, forest birds, biological interaction, ecological community, food web, biodiversity, population dynamics, regulation of population density, outbreak, seed dispersal, soil animals, alien organisms

樹病部門

樹木診断, 防除, 病原性, 抵抗性, 発生実態, 誘因, 傷害応答, 腐朽病害, 胴枯れ, 枝枯れ, 萎凋病, マツ枯れ, ナラ枯れ, 菌類, 細菌, ファイトプラズマ, 線虫, 内生菌, 菌根菌, 木材腐朽菌

Forest Pathology

diagnosis, control, pathogenicity, resistance, disease incidence, inducing factors, wound reaction, tree decay, canker, dieback, wilt, PWD (pine wilt disease), JOW (Japanese oak wilt), fungi, bacteria, phytoplasmas, nematodes, endophytes, mycorrhizae, wood decay fungi

特用林産部門

きのこ、たけのこ、わさび、うるし、樹脂、山菜、竹桐材、木炭、木酢液、樹実類、樹液、薬用植物、菌床病害虫

Non-Wood Forest Products

mushrooms, bamboo shoot, wasabi, lacquer, resin, wild vegetables, bamboo, Pawlonia, charcoal, pyroligneous acid, wild fruits, tree sap, medicinal plants, mushroom-bed pests

5. 公募セッション・企画シンポジウムのコーディネータの募集

第127回大会では、会員がコーディネータとなって企画する「公募セッション」と「企画シンポジウム」を募集します。

1. 公募セッションは、既存の部門ではカバーできない部門横断的なテーマについて会員の研究交流を継続的に進めることを目的としたセッションです。ポスター発表の併設も可とします。発表者は公募のみとし、部門別発表と同様の発表形式とします。公募セッションの全体の時間制限を事前に設けることはしませんが、会場の都合により発表数（時間）を制限することがあります。
2. 企画シンポジウムは、森林学に関する明瞭で簡潔にまとめたテーマをもったシンポジウムです。3時間以内で、発表者は公募せずコーディネータが決定します。

詳細は下記の「**公募セッション・企画シンポジウムの募集**」を参照してください。

6. 関連研究集会について

本大会に付随して開催を予定している関連研究集会の責任者の方は、日時、テーマ、参加予定人数を2015年11月13日（金）までに大会運営委員会（jfs127@brs.nihon-u.ac.jp）にご連絡ください。森林学に関連する研究集会であれば、定期的開催されているものでなくても構いません。採否は大会運営委員会が判断します。なお、会場費は開催者が負担し、また、会場係等も開催者が手配してください。会場は3タイプがあり、席数はそれぞれ90、200、250人です。会場の使用時間は原則として9時から17時までです。会場費は部屋によって異なりますが、1日5,000～12,000円です。また3月27～29日の市民公開シンポジウム、日本森林学会各賞授賞式・受賞者講演、及び研究発表の時間帯には関連研究集会は開催できません。

7. 学生ポスター賞について

日本森林学会学生ポスター賞は、日本森林学会大会で優れたポスター発表を行った学生会員に授与されます。学生会員が筆頭発表者であり、研究発表申込時に学生ポスター賞にエントリーしたポスター発表が対象です。学生会員の積極的な参加を期待しています。また指導の先生方も、参加を是非お勧めください。

8. 高校生ポスター発表募集

日本森林学会では、青少年における森林・林業への興味関心を喚起し、中等教育における学習研究を支援する目的から、第125回大会より高校生のポスター発表を実施しています。第127回大会でも同様にポスター発表を募集いたします。エントリーは11月頃を予定しています。会員の皆様におかれましては、お知り合いの高校の先生・生徒の皆さんにエントリーをお勧めいただければ幸いです。

9. 学術講演集原稿の提出（締切：2016年1月14日（木）17:00）

学術講演集の原稿は、インターネットから上記期日までにオンライン入稿して下さい。日本森林学会ウェブサイト（<http://www.forestry.jp/>）にアクセスし、入稿手続きを行ってください。なお、参加費の払込みが事務局で確認された時点で、入稿が可能となります。郵便振込みの場合、払込みが確認されるまで7～10日程度かかりますので、ご注意ください。また、入会予定の方は、入会手続きが完了した時点で入稿が可能となります。

原稿の作成方法については、日林誌96巻5号および日本森林学会ウェブサイトに掲載予定の原稿作成要領をご参照下さい。オンライン入稿の方法については、ウェブサイトの案内をご覧ください。インターネット以外からの登録は受け付けませんのでご注意ください。

10. 保育室の設置について

第127回日本森林学会大会では、大会参加者がどなたでも利用できる保育室を設置します。利用の希望を募ったのちに、保育士の配置や利用料金等を検討し、お知らせします。

11. 大会に関する連絡先

・第127回大会参加申込み、発表申込みシステムに関する連絡先

〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館

日本森林学会事務局

E-mail: taikai@forestry.jp

・日本森林学会への入会に関する連絡先

〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館

日本森林学会事務局

E-mail: office@forestry.jp

・第127回大会の研究発表（部門別口頭発表、部門別ポスター発表、公募セッション、企画シンポジウム）に関する連絡先

〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館

日本森林学会プログラム編成委員会

E-mail: 127program@forestry.jp

・第127回大会の上記以外（関連研究集会の申込み、高校生ポスター発表の問い合わせを含む）に関する連絡先

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866

日本大学生物資源科学部森林資源科学科内 第127回日本森林学会大会運営委員会

E-mail: jfs127@brs.nihon-u.ac.jp

公募セッション・企画シンポジウムの募集

(1) 公募セッションの募集

- ・公募セッションとは、既存の部門ではカバーできない部門横断的なテーマについて会員の研究交流を継続的に進めることを目的としたセッションです。1回限りではなく、継続性のあるテーマを設定してください。将来の部門化を目指すことも考えられます。
- ・公募セッションの発表形式は、既存の部門別発表と同様の形式となります。

<公募セッションの応募と採択>

- ・コーディネータは、セッションのタイトル、趣旨を明記して応募してください。このタイトル、趣旨は、会員への発表募集のお知らせに用いますが、プログラム編成委員会より修正をお願いする場合があります。また、発表募集の前にコーディネータによる修正の機会を設けます。
- ・プログラム編成委員会が公募セッションの採否を決定します。既存部門でカバーできると考えられるもの、テーマが明瞭でないもの、発表者数が少ない、または多すぎるものが予想されるものについては、調整をお願いすることや、不採択とすることがあります。

- ・ 会場は3タイプがあり、席数はそれぞれ 90, 200, 250 人です。ご希望の会場のタイプをお知らせ頂きますが、ご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

<公募セッションの発表方法>

- ・ 発表者は公募のみとします。また、非会員の発表は認めません。
- ・ ポスター発表の併設も可とします。
- ・ 口頭発表時間は、部門での通常の口頭発表の時間（質疑込みで1人あたり15分）と同一とします。時間の延長や短縮は認めません。
- ・ 総合討論は3-6件に1コマ（15分）で配置できるようにします。趣旨説明等も必要があれば配置できるようにします（1コマ15分）。
- ・ 公募セッションの全体の時間制限を事前に設けることはしませんが、会場の都合により発表数（時間）を制限することがあります。

<公募セッションのコーディネータの当日までの役割>

- ・ コーディネータは、プログラム編成委員会の部門委員会に相当する役割を担っていただきます。
- ・ コーディネータは、申し込まれた発表について当該公募セッションでの発表が適切かどうかを判断し、採択を決定してください（要旨提出前にプログラムを編成しますので、タイトル、キーワード、著者のみでご判断いただきます）。不採択の発表の申込者に連絡し、適切な部門等を紹介してください。またポスター発表を併設する場合は、口頭発表とポスター発表のどちらにするのかについても判断し、発表形式の変更がある場合には申込者へ連絡してください。
- ・ コーディネータには、部門委員会と同様のプログラム編成作業を行っていただきます（発表順の決定、総合討論の時間の配置、座長の決定等）。11月上旬から12月上旬にこの作業を行っていただきますので、この期間の出張等は避けていただき、メールでの連絡が取れるようにしてください。
- ・ コーディネータが複数の場合は、筆頭者を代表者とし、代表者の方のみにメールでの連絡を差し上げます。コーディネータ（代表者）以外の方への連絡は致しませんので、プログラム編成委員会との連絡を担当される方をコーディネータ（代表者）としてください。

<公募セッションのコーディネータへの注意事項>

- ・ 部門別の口頭発表と同一の時間帯に公募セッションの口頭発表を行います。このためコーディネータは他の公募セッションや部門の口頭発表には参加できないとお考えください。
- ・ コーディネータは複数の公募セッションのコーディネータになることはできません。またコーディネータは、企画シンポジウムのコーディネータになることはできません。
- ・ コーディネータは、他の公募セッションあるいは部門別の口頭発表や座長はできません。
- ・ コーディネータ自身が当該公募セッションで発表してもかまいません。

<公募セッションの発表者への注意事項>

- ・ 公募セッションの発表者は、企画シンポジウムでの発表や、他の公募セッション、部門別の口頭発表、筆頭者としてのポスター発表はできません（大会中の筆頭者としての発表は1つ）。

(2) 企画シンポジウム

- ・ 企画シンポジウムは、会員がコーディネータとなって企画する、森林学に関する明瞭で簡潔にまとめたテーマをもったシンポジウムです。

<企画シンポジウムの応募と採択>

- ・ コーディネータは、シンポジウムのタイトル、趣旨、発表予定者を明記して応募してください。このタイトル、趣旨は、会員へのお知らせに用いますが、プログラム編成委員会より修正をお願いする場合があります。また、コーディネータによる修正の機会も設けます。応募の時点では発表者が確定していなくても構いませんが、遅くとも11月下旬の発表申込みの締切までには確定してください。

- ・ 3時間以内に納まるように企画してください。
- ・ 第126回大会では件数が多く、参加できない企画シンポジウムがあったと会員から不評でしたので、他の企画シンポジウムを予定されている関連分野の方や関連の部門委員会と事前に相談・調整していただくと助かります。
- ・ 部門委員会が企画するシンポジウム（ポスター発表の紹介なども含む）もこの枠で企画してください。
- ・ プログラム編成委員会が採否を決定します。場合によっては類似する企画シンポジウムの統合（合同開催）を提案することがあります。
- ・ 会場は3タイプがあり、席数はそれぞれ90, 200, 250人です。ご希望の会場のタイプをお知らせ頂きますが、ご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

<企画シンポジウムの発表方法>

- ・ 発表者はすべてコーディネータが事前に決定します。発表者の公募は認めません。
- ・ 内容によっては、若干名であれば非会員を発表者として認めます。その場合は、非会員の発表者が必要な理由を簡単に説明してください。非会員の発表者も大会参加費はお支払いいただくこととなりますので、ご了承ください。また、日本森林学会の発展のために会員になっていただくようコーディネータからも非会員の発表者にご依頼ください。
- ・ 口頭発表のみとし、ポスター発表は併設しません。
- ・ 発表人数、1人あたりの発表時間、趣旨説明・総合討論の時間等についてはコーディネータが自由に企画することができます。

<企画シンポジウムのコーディネータへの注意事項>

- ・ 複数の企画シンポジウムのコーディネータになることはできません。またコーディネータは、他の企画シンポジウムの発表者になることはできません。
- ・ コーディネータは、自らが企画する企画シンポジウムの発表者の1人となっても構いません。
- ・ コーディネータは、公募セッションのコーディネータになることはできません。
- ・ コーディネータが複数の場合は、筆頭者を代表者とし、代表者の方のみにメールでの連絡を差上げます。コーディネータ（代表者）以外の方への連絡は致しませんので、プログラム編成委員会との連絡を担当される方をコーディネータ（代表者）としてください。

<企画シンポジウムの発表者への注意事項>

- ・ 企画シンポジウムの発表者は、他の企画シンポジウムでの発表や、公募セッション、部門別の口頭発表、筆頭者としてのポスター発表はできません（大会中の筆頭者としての発表は1つ）。

公募セッション、企画シンポジウムにコーディネータとして応募される会員は、下記の要領にしたがってお申込みください。

申し込み方法

次の方法で、2015年8月27日（木）（必着）までに申し込んでください。プログラム編成委員会で調整した後、2015年9月25日（金）までにコーディネータ（複数の場合は代表者）に採否をお知らせします。

下記をE-mail本文に直接書込み、サブジェクトを「公募セッション申込み」または「企画シンポジウム申込み」とし、下記の日本森林学会プログラム編成委員会のアドレスにお送りください。E-mailを受取りましたら確認の返信をします。返信がない場合には、再度連絡をお願いします。E-mailアドレス：127program@forestry.jp

(1) 公募セッション

1. タイトル(日本語および英語)
2. 趣旨(800字以内)(英文の場合は、同程度の長さ)
3. コーディネータ(複数の場合も全ての方についてお書きください。複数の場合は、一番上の人を代表者としてください。代表者にのみ連絡を差し上げます。)
 - 1) 氏名(ふりがな)
 - 2) 所属
 - 3) 連絡先 ①郵便番号, ②住所, ③電話番号, ④E-mailアドレス
4. 希望の会場タイプ(90人, 200人, 250人からお選びください。)
5. ポスター発表の設置希望の有無
6. プログラム編成委員会への要望・連絡等

(2) 企画シンポジウム

1. タイトル(日本語および英語)
2. 趣旨(800字以内)(英文の場合は、同程度の長さ)
3. コーディネータ(複数の場合も全ての方についてお書きください。複数の場合は、一番上の人を代表者としてください。代表者にのみ連絡を差し上げます。)
 - 1) 氏名(ふりがな)
 - 2) 所属
 - 3) 連絡先 ①郵便番号, ②住所, ③電話番号, ④E-mailアドレス
4. 希望の会場タイプ(90人, 200人, 250人からお選びください。)
5. 発表予定者リスト(各発表予定者の氏名と所属)
6. 発表者に非会員を含める場合、その理由
7. 希望時間(3時間以内。15分単位で記入してください。)
8. 関連する部門(林政, 風致, 経営, 造林, 遺伝・育種, 生理, 生態, 立地, 防災, 利用, 動物, 樹病, 特用林産の中からお選びください。)
9. プログラム編成委員会への要望・連絡等